

事業所名

ステップきっず

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人理念

理念：地域のこどもの育ちと健康のサポーター
 ミッション：私たちは、地域のこどもたちを笑顔にします！

支援方針

1. 私たちは、子どもたちの小さなサインに隠された大きな可能性を見つけて行きます。
2. 障害があっても地域で家族と一緒に安心して生活できるよう医療的ケアを習熟し、症状の安定に努めます。
3. 保護者が安心して子育てができるよう、相談支援と地域連携、情報発信に努めます。

営業時間

10時

0分から

15時

0分まで

送迎実施の有無

あり

なし

支援内容

本人支援

健康・生活

- ・バイタルチェック・視診：体調や配慮すべき部分の確認
- ・当日の医療的ケアの確認：ケアの時間を確認した上で、遊びの時間を計画
- ・体調に合わせた1日のプログラムの実施：ステップきっずでの生活の流れに慣れるために固定化したデイリープログラムを個々に作成し、生活場面カードなどのツールを使って見通しを持てるようにしながら生活リズムを整える。
ただし、その日の体調や睡眠状況に合わせ午睡時間を変えたり、ケアを増やすなど臨機応変に対応する。
- ・環境設定：一人ひとりの特性に合わせて空間や時間を構造化している。

運動・感覚

- ・運動遊び：全身マッサージ、バランスボールやタオルブランコ、ボールプールなど、身体を動かす粗大運動遊びを、1日1回午前中のプログラムに取り入れている。
- ・感覚遊び：絵の具遊びやスヌーズレン、お絵描き、粘土遊びなどを実施。
感覚過敏の強い児には、無理をせず少しずつ触れる機会を作りながらスモールステップで慣れていき、製作の場面では個々に応じた手法を用いておこなうなどの配慮をしている。
- ・姿勢：座位保持装置等を利用して座って遊ぶ時間を多く持ったり、抱っこ座位で遊ぶことで筋力低下を防いだり、側臥位・腹臥位をしたりするなど、さまざまな姿勢をとる。姿勢を変えることにより、遊びながら排便を促したり、さまざまな動作を引き出したりしている。

認知・行動

- ・個々の特性に合わせた支援：
 - 初めての人や遊び、物など、新しいことが苦手な児には、短時間で繰り返し関わる（触れる）機会を持つことから少しずつアプローチしたり、毎回新しい事象を取り入れたりするなど、支援の工夫をすることで経験を重ね、場面に適した行動に導いていく。
 - 視覚支援（カード）や声掛け、iPadなどさまざまな情報習得の方法を提示し、体験する機会を持つことで認知機能の発達を促していく。
- ・スイッチ遊び：スイッチで操作できるおもちゃやiPadを積極的に取り入れ、その仕組みを知り、自分でできる楽しさを味わい、もう一度やってみようという気持ちでこどもが主体的に挑戦できるように促していく。

言語
コミュニケーション

- ・言葉かけ：声や動きと場面の様子を関連付け、「嬉しいね」「嫌だったね」と受容、共感しながら、応答的な言葉かけを丁寧におこなう。
行動を代弁していくことで、事象と言葉がつながる援助する。
- ・あいさつ：身振り手振りやハイタッチも取り入れながら、朝、帰りの挨拶をスタッフや友達みんなと行いコミュニケーションの向上を図る。
- ・二者択一：個々に応じた方法（目線、タッチ、声を出すなど）で取り入れたり、場面に応じた絵・写真カード、ハンドサイン・手話を使用し言葉だけでなくさまざまな方法で子どもたちとやりとりをする。

人間関係
社会性

- ・人間関係：担当療育者と1対1で関わり、手遊びやふれあい遊び、やりとり遊びを通じてアタッチメントの形成を促す。
- ・社会性：お友達とあいさつのハイタッチをしたり、朝の会など集団で活動し共に遊ぶ時間を設けることで徐々に社会性を育む。
季節のイベントや行事に友達と一緒に参加することで楽しく他者と過ごす経験を積み重ねる。

家族支援

保育参加（ペアレントトレーニング）を定期的に行い、ご家族と情報を共有しながら具体的な支援に反映させていきます。
 家族支援として、ママ会などピアグループで楽しく情報共有ができる機会を設けている。
 就学に向け移動時に医療機器の取り扱い等に留意する必要があり定期的に移動方法について家族支援を実施。

移行支援

移行先の保育園看護師や保育士への申し送り、個別の医療ケア資料の作成。
 就学先への申し送り資料の作成、就学前施設見学の受け入れや、年長時、就学に向けたプランニングの作成ならびにそれに応じた援助（座位保持装置での活動を多く持つなど）を行う。

地域支援・地域連携

地域移行・就学移行の取り組みとして、医療機関や訪問看護ステーション、他事業所と連携を図り情報共有を行う。

職員の質の向上

医師、看護師、療育内での施設内研修を定期的実施。
 外部での研修にも適宜参加している。
 虐待防止研修に年1回全員が参加し、毎月の所内ミーティングでスタッフ全員で虐待防止関連事項について話し合いを実施している。

主な行事等

月の誕生会、春の遠足、避難訓練、七夕、水遊び、運動会ごっこ、クリスマス会、豆まき会、卒園式、保育参加（適宜）